

## 1 市の概要（H30年度）

人口	128,001人
保護率	1.4%

平成31年1月1日住民基本台帳人口動態統計  
令和元年5月 熊本県の生活保護（速報値）

## 2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当 (件) 一月当たり	15.0
プラン作成件数人口10万人当(件) 一月当たり	5.3
就労支援対象者数人口10万人当 (件) 一月当たり	2.9
就労・増収率(%)	56.8

## 3 実施状況について（H30年度）

実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託（3年契約 プロポーザル）</li> <li>・社会福祉法人八代市社会福祉協議会へ事業を委託し実施。</li> </ul>
事業費	15,889,241円
理由 (委託)	<p>○八代市社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的とした公益性の高い法人であり、本所及び旧町村単位の6支所を有しており、市内全域における相談受付、支援体制の確保が可能である。</p> <p>○また、事業の実施にあたり行政、福祉関係団体や民生委員児童委員など地域に根ざした団体とも密接に連携しているため、生活困窮者を早期に把握、発見し、支援につなげるネットワークやアウトリーチが可能な基盤を有している。</p>
事業概要	<p>○相談員の配置状況：主任相談支援員1名（兼任）、相談支援員3名（専任）、就労支援員1名（専任）</p> <p>○緊急対応：緊急的な支援の必要性から「緊急食料等支援事業」を実施。市民の皆様から寄付頂いた食料や日用品を相談に来られた方へ提供。また、緊急的に援護が必要な方に「小口資金貸付事業」により貸付を実施。</p> <p>○就労支援：就労についての相談が多いことから、就労支援の一つのツールとして、「無料職業紹介事業」の実施に向け、国の認可を受けた。相談者本人にあった求人開拓がこれまで以上に柔軟に対応できる。</p> <p>○多重債務問題庁内連絡会議への参加により、収納部門等と連携。</p> <p>○広報活動として、名刺サイズの相談窓口案内カードを作成し、大型スーパー、公的機関、駅、郵便局、物産館等へ設置。</p> <p>○家族がひきこもっている等で悩みを抱えている方の話せる場として「ひなたでカフェ」を実施。</p>

## 4 事業実績(H30年度)

新規相談受付件数	プラン作成件数	就労支援対象者数	就労者数	増収者数
230件	81件	44件	25件	11件

## 5 事業実施のポイント ～ひきこもりの家族等が話せる場を提供～

### Point

○家族がひきこもっている等で悩みを抱えている方の話せる場として「ひなたでカフェ」を実施。



「ひなたでカフェ」イオン八代店  
※令和元年12月より八代本町アーケード内に場所を変更して実施中。

### 他の事業の活用(H30年度)

社会福祉法第2条第3項第1号に係る事業（レスキュー事業）	○
緊急食糧等支援事業の実施	○
消費生活機関との連携	○
市町村民税関係部署との連携	○
教育機関との連携	○
見守り応援隊（電気・ガス・水道・新聞配達等との連携）	○
その他【無料職業紹介事業】	○

## 6 取り組んで良かった点

- 自立相談支援センターにつなぐことによって就労支援等さまざまな制度やサービスの利用によって生活保護に至らず自立することができるよう支援ができる。
- 生活保護申請から決定までのつなぎの支援ができる。
- 十分ではないが、生活保護申請に限らず緊急的かつ一時的な援助ができ、次の支援までの繋ぎが可能になった。
- 就労支援相談窓口の間口が広がった。相談者に合った求人開拓が柔軟に対応できるようになった。
- 「ひなたでカフェ」が参加される方の楽しみの場となっている。家族支援の一つになっている。